

## 1月8日（金）

おはようございます。

皆さん明けましておめでとうございます。

いよいよ新しい年が始まりました。とは言うものの、コロナウイルスの蔓延が収束する気配はなく、大阪府もついに一日の感染者が500人を超える事態となってしまいました。知事が、来週の後半には非常事態宣言を要請するという状況です。このような状況にありますので、いつも諸君にはお願いしているように、しっかりと手洗いとうがいとマスクの着用を徹底してほしいと思います。

諸君が自分を守ることは、家族をまもること、つまり、お父さんやお母さん、お爺ちゃんやお婆ちゃんを守ることになり、また友だちを守ることになります。そう思ってマスクをつけ、そう思って無言でご飯を食べれば、それだけで「徳」を積むことになり、それは巡り巡って自分に還ってきます。

先生に怒られるからマスクをつけるとか、先生に怒られるから黙ってご飯を食べるというのではなく、黙ってご飯を食べることが友だちを守ることになるし、家族を守ることになるし、引いては自分を守ることになると思って、黙ってご飯を食べるのは、他人のことを思いやる「親切心」の現れです。そうして、その行為は量り知れないほどの「徳を積む」ことであり、それが巡り巡って必ず自分に還ってくるのです。

この親切心で、お互いがお互いを守りあい、お互いがお互いを思いやりあうことは、清風の自利利他の精神です。たいへん厳しいコロナ蔓延の時期ではありますが、友や家族と、お互いがお互いを思いやる気持ちでこころを一つにして、この困難を学校全体で乗り切っていきたいと思っています。その自覚を持って、諸君の方からの主体的な協力をお願いします。

さて、元旦の拝賀式でもお話をしたことですが、平安時代に疫病が流行ったことがありました。817年(弘仁9年)から818年にかけてです。当時の天皇は嵯峨天皇でありました。疫病の流行で民が苦しんでいることを、天皇は自分の不徳によるものだと考えて、耐えきれぬほど悩んだそうです。そこで、自分がとても信頼を寄せていた弘法大師に相談をしました。弘法大師は天皇に、「般若心経を書いてください、一文字書くたびに三礼しながら。」という講義(「般若心経秘鍵」)をなさいました。天皇は言われたとおりに、一文字書くたびに三礼をして、書き上げるまでに三日かかったそうです。そして、般若心経が完成するや否やたちまち疫病が退散したと伝えられています。

それ以降この般若心経は、「勅封般若心経」と呼ばれ、嵯峨天皇の御在所があった大覚寺というお寺に保管されており、60年に一度の御開帳となっています。まさに国宝となったわけです。

ここからは信仰のお話ではありますが、般若心経は、疫病退散の功德ありということですので、諸君も般若心経を唱えることで疫病退散を願っていただき、自分と皆とが幸せになるという気持ちを送り届けてもらいたいと思います。お経を一回唱えることにおいても、誰かに「やらされている」と思って唱える人もいれば、自ら信じて唱える人もいるでしょう。しかし、功德があってほしいと願って読経すれば、そのモチベーションそのものによって、すでに徳を積んでいることになるのです。

私はこの難しい時代に、諸君の心を支えてくれるのは、「徳」だけだと思っています。しっかり徳を積んで、親切心でコロナの困難を乗り越えていく年始めにしたいと思っていますので、諸君の心からの協力を願っています。このしんどい時期こそ、心を一つにして頑張っけて乗り越えていきたいと思います。

これで始業式の話が終わります。

学校長